

| | |
|-----------------|--|
| 研究課題名 | 顎骨に生じる線維骨性病変の原因遺伝子の解析 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学 教授 相川 友直 |
| 研究期間 | 実施許可日 ～ 2026年3月31日 |
| 対象者 | 2019年1月から2025年9月の間に、広島大学病院口腔顎顔面再建外科および九州大学病院顎口腔外科を受診した顎骨に生じる線維性骨病変の患者さん。 |
| 意義・目的 | 線維性骨異形成症を特徴とする McCune-Albright 症候群の原因遺伝子として GNAS1 遺伝子が同定され、非 McCune-Albright 症候群性の線維性骨異形成症においてもその変異が認められています。顎骨の骨形成線維腫を特徴とする副甲状腺機能亢進症・顎骨腫瘍症候群（HPT-JT 症候群）では、HRPT2 遺伝子の変異が同定されています。さらに、顎骨骨幹異形成症（GDD）の原因遺伝子として TMEM16E 遺伝子を同定しています。本研究では、これら遺伝子の変異や発現の解析を行います。 |
| 方法 | <p>本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。生検もしくは手術の際に摘出された患部組織と周囲正常組織の一部と、診療録（カルテ）情報（性別、血液検査、画像検査、等）を用いて行います。試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、広島大学口腔外科学研究室（研究責任者 相川 友直）へ集め、顎骨に生じる線維性骨病変と関連する遺伝子（GNAS1, HRPT2, TMEM16E）の解析を行います。</p> <p>また、この研究のために集めた血液等の試料は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「二次利用」といいます。二次利用の際には、あらかじめ本学の倫理審査委員会にて審査し承認されたのち、研究機関の長より許可を得たのち使用します。将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいている HP（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開） https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspxにて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。</p> |
| 外部への試料・情報の提供 | ありません |
| 利用または提供を開始する予定日 | 本学における実施許可日（2019年2月27日） |
| 研究の実施体制 | <p>研究代表機関： 研究責任者：広島大学大学院医系科学研究科口腔外科学 相川 友直 研究機関の長：理事 田中 純子</p> <p>共同研究機関： 研究責任者：九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座 中村 誠司 研究機関の長：病院長 中村 雅史</p> |
| 個人情報の保護について | 本研究は広島大学疫学研究倫理審査委員会にて審査を受けて承認され、研究機関の長の許可を得て実施されています。試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにし、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表 |

されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合は以下の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院 口腔顎顔面再建外科 助教 水田 邦子

T e l (または FAX) : 082-257-5672 (082-257-5703)

E-mail:mihta@hiroshima-u.ac.jp